

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 2 月 13 日作成)

委員会名	電磁環境企画 WG	主 査 名：石橋 孝一
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境小委員会)	委員長名：鉾井 修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>当該 WG は、電磁環境障害や電磁波の有効利用に対し、建築学会として過去に行っていない活動や今後 5 年間程度を意識した「次世代」の電磁環境に関し、企画立案を行うことを目的としている。</p> <p>建築物という側面から、今後電磁環境対策が必要となる分野やその具体的内容について調査を行い、今後取り組むべき課題提案を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	石橋孝一(三井住友建設)、笠井泰彰(大林組)、遠藤哲夫(大成建設)奥野功一(間組)、小田康弘(五洋建設)、木村健一(フジタ)、中村裕介(奥村組)、平井淳一(鹿島)、星野康氏(日本板硝子環境アメティ)、三浦勇雄(戸田建設)	
設置 SWG (SWG 名:目的)		
2003 年度予算	30,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003.4.16・5 名、2003.6.17・6 名、2003.8.1・5 名、2003.9.17・8 名、2004.2.6・6 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>< 成果の内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画立案「電磁シールド技術指針作成WG (平成 16 年度より)」 課題提案「地上波デジタル放送」、「静電気」に関する調査を踏まえて <p>< 成果の価値 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 電磁シールド技術指針の整備を目的とした WG を立案することは、社会的価値がある。 建物物と放送技術、通信技術との関連や今後の課題を建築電磁環境研究という立場から調査することは、基礎技術向上に対して価値がある。 静電気技術について、建築電磁環境という立場から調査を行うことは、建築学会として初めての試みであり、基礎技術向上に対して価値がある。 <p>< 成果の公開 ></p> <p>HP における成果の公開を予定</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後 5 年間程度を意識した「次世代」電磁環境に関する企画立案 (100%) 今後電磁環境対策が必要となる分野やその具体的内容について調査 (50%、2004 年度継続して実施予定) 今後取り組むべき課題提案 (100%)
その他評価すべき事項	一部のテーマについては、具体的な内容調査を継続する必要があると考え、次年度より、電磁環境小委員会「体系調査 SWG」へ移行することにした。